

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/12/18号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

70ドルの節目を挟んで売買が交錯

NY原油先物相場は、1バレル=70ドルの節目水準で売買が交錯する展開になった。根強い需要不安を背景に、12月13日安値は67.71ドルに達した。6月28日以来の安値を更新している。70ドル割れに対しては一定の抵抗を見せるも、明確な底入れ感形成には至らなかった。ただし、12月12～13日の米連邦公開市場委員会（FOMC）後はドル安・株高環境を手掛かりに押し目買いが入り、週末にかけては71ドル台中盤まで切り返す展開になった。70ドルの節目水準にボックスを形成しつつある。

FOMCでは当局者が2024年に3回の利下げを想定していることが明らかになった。マーケットでは想定以上にハト派との評価が優勢になり、第一にドル安・株高圧力が原油相場の下値をサポートする要因になった。第二に、24年に積極的な利下げ対応が行われるのであれば、米経済のリセッション（景気後退）のリスクが軽減されるとの見方もポジティブ材料視された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（12月8日時点）は、原油が前週比426万バレル減、ガソリンが41万バレル増、石油精製品が149万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

70ドル水準で安値ボックス相場に、上下双方に決定打を欠く

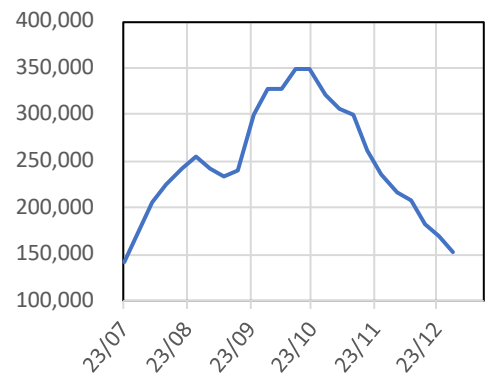
下値切り下げ傾向は維持されているが、70ドル割れからの一段安に対しては抵抗がみられ、下落余地は限られよう。既に7～9月期の急伸前の価格水準に到達しており、70ドル割れの価格水準では自立反発狙いの買い妙味が認められる。一方で、改めて原油相場を大きく押し上げるようなテーマは欠いており先高感乏しい。75～80ドル水準では逆に戻り売りの妙味が高まる見通し。安値ボックス気味の相場展開が維持されよう。

国際エネルギー機関（IEA）が12月14日に発表した月報では、世界石油需要の鈍化と非石油輸出国機構（OPEC）の増産を受けて、OPECが市場シェアを維持し、原油価格を押し上げる取組は困難になるとの見方が示されている。今年は非OPECの増産に対してOPECが減産対応を行ってきたが、今後も市場シェア喪失を容認して減産対応を続けるべきか、難しい選択を迫られることになる。こうしたマクロ需給環境において、原油相場を大きく押し上げるのは難しいだろう。原油・石油製品在庫の大幅な減少といった動きがみられなければ、先高感の形成は難しい。

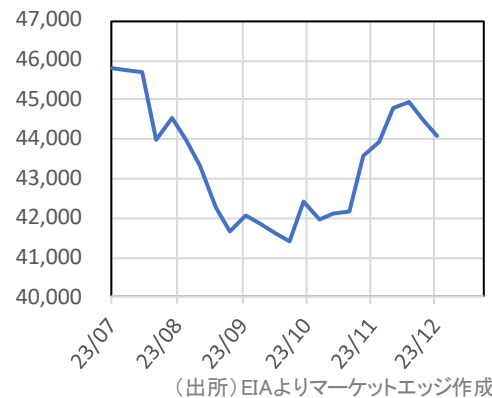
一方で、既にファンドの買い玉整理は十分に進んでおり、70ドル割れから大きく値を崩す必要性も乏しい。これ以上の安値では米国などの増産ペース鈍化も想定される。また、OPECプラスが原油市況対策で新たな動きを見せる可能性も警戒される。特にクリスマス・年末に向けて株高やドル安環境が維持されると、原油相場の下値不安も後退しよう。

大きなイベントは予定されておらず、米石油在庫統計が注目される程度である。原油在庫の減少、石油製品在庫の増加傾向と、評価が割れやすい環境にある。

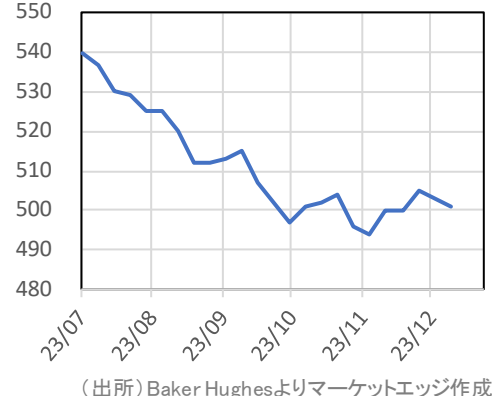
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

